

# ぶどうの樹

2023.6

NO. 32



写真：新入生一泊研修

INDEX

特集1：新入生一泊研修 in 島原～雲仙

特集2：業界研究会を開催しました

5 チャペル通信

6 7 大学情報

8 同窓会だより・保護者会だより

9 寄付事業のお礼と報告

10 2022(令和4)年度決算報告



# 新入生一泊研修

4月6日（木）・7日（金）の2日間、過去最多の留学生とともに、大学生活最初の友達作りのきっかけとなる一泊研修に行ってきました！！

交流を深めるアクティビティ、おいしい料理、ホテルでの楽しいゲーム、仲間と初めて過ごす一晩、そして翌日の雲仙散策・・・

大学で初めて出会った友達や留学生との距離もグンと縮まる2日間になったのではないのでしょうか^^



## 交流アクティビティ (島原体育館)

日本人学生と留学生が母国語でお互い自己紹介!!頑張って相手の母国語で話をしようとする姿も見られました(その後はチームに分かれて景品を賭けたゲームを行いチームメイトと一致団結!!)数年振りとなる日本人学生と留学生との交流風景はとても素敵でした^^





# in 島原～雲仙

## ホテルでの自由時間 (南風楼)

卓球・ビリヤード・マンガ本・バスケット・射的・オセロなどで各々楽しい時間を過ごしました♪



日本のマンガを楽しむ留学生の姿、アクティビティで打ち解けた留学生や日本人の友達と早速連絡先を交換する姿も!!新入生対職員の卓球対決も白熱していました!!

翌日の雲仙散策では、天気には恵まれませんでした、寒い中でもアイスをおいしそうに頬張っている学生がたくさんいました♪





## 業界研究会を開催しました

1月31日（火）本学学生食堂にて15社の企業様をお招きし、業界研究会を開催しました。

本研究会は、幅広い業界を知り視野を広げること、仕事に対する知識を深めることを目的に開催し、10社以上の企業様を招いての実施は今回が初めてとなります。

当日は143名の在学生在が参加し、複数の企業担当者様と交流しながら、インターネットに掲載されていない会社の情報や仕事のやりがいなどを伺っていました。

今回の研究会参加から造船業や製造業、公務など思わぬ職業で語学を活かせることに気づき、参加者からは新たに興味を持った企業が見つかったとの感想も寄せられ大変貴重な機会となりました。

本学では卒業後のキャリアプラン構築のため、キャリア関連科目では「知ること」に重点を置き、視野を広げることの大切さを伝えています。

語学力やコミュニケーション能力を活かす仕事に就きたいと考えてはいるものの、具体的な職業としてホテルや観光業、通訳、教師など自分が触れてきた領域のみを思い浮かべる学生がまだまだ多いことが現状として挙げられます。しかし実際には幅広い業界・職種で語学やコミュニケーション力が求められています。興味・関心から調べることに加え、多くの企業と触れ合い視野を広げてほしいと考えています。





## その力を、誰かのために

わたしたち強い者は、強くない者の弱さを担うべきであり、  
自分の満足を求めるべきではありません。(ローマの信徒への手紙15：1)

あさば ともき 浅場 知毅 牧師 (長崎古町教会)



1943年、戦争中の日本は、兵力不足解消のため、それまで兵役を免除されていた大学生のうち、20歳以上の学生を徴兵する決定をしました。いわゆる学徒出陣です。しかしそれでも兵力が足りず、翌1944年には19歳からの徴兵を決定し、彼らを戦地に送りました。

しかし1945年8月6日に広島、9日に長崎に、それぞれ原爆が落とされ、15日に敗戦を迎えました。残ったのは多くの死体と瓦礫の町、そして生きる理由を失った若者たちでした。彼らは将来の夢があって大学で学んでいたのに、20歳や19歳になったら戦争に連れて行かれ、その手にはペンではなく銃が握らされ、しかも負けてしまいました。家族も町も原爆で失い、勉強していた学校もなくなってしまいました。全てを失い、生

きる理由を失った多くの若者が町を彷徨さまよっていたそうです。

この状況を見た長崎馬うま町教会の当時の牧師である青山武雄あおやまたけ おは、この若者たちと、これからの若者たちに生きる理由を与えないといけないと考え、終戦の同年12月1日に長崎YMC Aを再建します。これを母体として1947年に長崎外国語学校が設立されました。現在の長崎外国語大学です。

今、学生の皆さんが将来の夢を持ち、ここで学んで語学力を身につけ、そして社会に出て行こうとしています。そのように未来を見つめることが出来ているならば、この学校で働く先生方、職員の方々も、役割を果たすことができ良かったと思っていることでしょう。それこそ長崎外国語大学がここに存在してきた理由だからです。

大学ウェブサイトの「建学の精神」には「外国語を用いて異なる国々の人々と対話する力を持ち、異文化を理解し尊重する」という言葉が記されています。「対話」とは、自分が一方的に話すことではありません。自分も話すけれども、相手の話に耳を傾け、それに対して応答することです。つまり皆さんがここで何のために勉強をしているのかと言いますと、自分のことを理解してもらおうというだけではなく、相手のことを理解するために語学力という力を身につけているのです。別の言い方をすれば、皆さんはここで自分のためだけに力をつけているわけではなく、相手のためにも力をつけているということです。理解されることよりも、理解することのために学ぶ、それが「対話をする、理解し尊重する」ということです。

最近「自己責任」という言葉がよく使われますが、それは弱い人に対して弱さの責任を迫る言葉です。強い人に使われることはありません。しかしこの言葉では生きる理由を失った長崎の若者たちを救うことはできなかつたでしょう。聖書には「わたしたち強い者は、強くない者の弱さを担うべきであり、自分の満足を求めるべきではありません」と記されています。皆さんの学びの力は、理解されるよりも、理解することのために用いられるものです。その力は誰かのために使ってください。

(2023年5月10日 チャペルアワー奨励より)



## 「ホームカミングデー 2023」「外語祭OB / OG会」を開催します

このたび、本学および本学同窓会では、この秋に「ホームカミングデー 2023」ならびに「外語祭OB / OG会」を開催することとなりました。

「ホームカミングデー 2023」では短大（本大工・泉校舎）卒業生を対象に、懇親会（昼食会）の他、短大跡地をバスで巡り現校舎を見学する長崎半日ツアーとして準備をすすめています。

また、外語祭ではコロナ前と同様に「OB / OG会」ブースを準備して、短大・大学問わず、全ての卒業生の皆さまのお越しをお待ちしています。

長崎は今、2022年9月に西九州新幹線（長崎～武雄温泉）が開業し、100年に一度と言われる大変革のときを迎え、特に長崎駅周辺は大きく様変わりしています。

ようやく長いコロナ禍のトンネルから抜け出しました。秋空の下、ご友人と、あるいはご家族皆さまで懐かしい長崎に集まりましょう！

詳細は、準備が整い次第、大学ホームページにて順次お知らせします。

ホームカミングデーや外語祭で、多くの卒業生の皆さまにお会いできることを心より楽しみにしております。

長崎外国語大学ホームページトップ>卒業生の方>長崎外国語大学同窓会>催し物  
<https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/alumni/alumni-events/?tgt=620>



撮影場所：  
新長崎市役所（旧公会堂）



撮影場所：長崎市泉

<Photo K.Iwata>

## 長崎学に関連する自由研究作品を表彰しました

長崎学の自由研究を表彰する「長崎学児童研究コンクール」（主催：長崎市長崎学研究所）への協力の一環として、2021年度に引き続き「長崎外国語大学長賞」を表彰しました。

2022年度の実賞者は稲佐小学校3年生の松尾伊織さん。中国から伝わったとされるハトシを題材に、製造者へのインタビューや自身でオリジナルハトシを調理するなど、郷土料理への深い愛情が伝わる力作「ハトシけんきゅう所NEWS」が選ばれました。おめでとうございます！

作品の一次選考にはGaidaiプロジェクトの一つ「長崎の歴史・文化魅力発見プロジェクト」のメンバーも参加しました。優れた作品の数々を目にして、甲乙つけがたいと悩んでいた学生たちの姿が印象的でした。



## 旅程管理研修について

本学院は、学校法人では全国初の観光庁長官登録研修機関（第23号）として、2007年度より添乗員やツアーコンダクターと呼ばれる旅程管理主任者の資格を取得するための研修を実施しています。

学生のみならず、一般の方の受講も可能です。今年度の研修詳細は、本学ホームページよりご確認ください。

旅程管理研修のご案内

<https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/career/license/ryoteikanri/?tgt=592>



旅程管理研修の受講者・修了者報告（2007年度～2022年度）

	総合	総合 (国内免除)	国内	合計
受講者数	509	18	234	761
修了テスト受験者	505	18	234	757
修了者数	440	15	219	674

お問合せ先

学校法人長崎学院 旅程管理研修機関事務局

TEL：(095) 840-2006

E-MAIL：ryotei@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

## 「THE日本大学ランキング2023」国際性分野にランクイン

英国の教育学術誌『Times Higher Education』等が実施する「THE日本大学ランキング2023」の結果が公表されました。全国から271の大学が参加した今回、本学は「国際性」分野で全国第17位となりました。九州内に限ると、全ての国公立大学のうちで4番目となります。

本学は「NUFS海外派遣留学プログラム」により、日本人学生の約半数を1年程度の長期海外留学に派遣してい





ます。本プログラムは日本学生支援機構の「海外留学支援制度（協定派遣）」に採択されており、これによって留学する学生の多くが月額6～8万円の返還不要の奨学金を得ることができ、留学先での学習や研究に集中できる環境を手に入れています。

本学は今後も全世界で100を超える国際交流協定校とのネットワークを活用し、国際感覚と語学力を養う良質な国際経験を学生に提供し、グローバル社会の中で活躍できる人材の育成に取り組んでまいります。

## 英語漬けの一日を過ごそう！「英語イマージョンデイキャンプ」を開催しました

3月4日(土)、長崎県新上五島町で、小学校児童の皆さん24名の参加を得て、同町では2回目となる「英語イマージョンデイキャンプ」を開催しました。このイベントは、「イマージョン(immersion: 浸すこと)」の名が示す通り、ほぼ丸一日かけて行われるゲームやアクティビティを本学の外国人教員や留学生と共に基本的に全て英語で行ってもらうものです。

今回は「新上五島町を英語で知る」をコンセプトに、同町の特産物である五島うどんや、町内に点在する教会・海浜等の観光資源から材を取った各種アクティビティを行いました。参加した皆さんには「英語が通じた！」という成功体験を通じて外国語や外国文化を身近に感じてもらったものと思いますし、もし「将来外国語を用いてふるさと新上五島町の魅力発信を担いたい」という夢を少しでも持って下さったのであれば、これほど嬉しいことはありません。

本件実施にご協力いただきました新上五島町、同町教育委員会、同町立上五島海洋青少年の家の皆様方をはじめ、関係各位に厚く御礼申し上げます。



## 「古写真に見る明治長崎の日仏関係」動画を公開しました

本学では、在京都フランス総領事館、長崎日仏協会の共催により、2021年11月30日から12月5日にかけてフランス海軍墓地120周年を記念した写真展を開催しました。この度、写真展で展示された古写真を動画にまとめ、本学新長崎学研究のホームページにて公開しましたのでご覧ください。写真展では、本学所蔵の古写真「フランスホテル」を初公開しました。この動画に掲載の内容は、長崎日仏協会ホームページからもご覧いただくことができます。

また、長崎日仏協会の現副会長は、本学名誉教授であります阿南婦美代先生が務められており、同協会のホームページにて長崎の日仏交流を日本語とフランス語で紹介した冊子「長崎とフランス人 Nagasaki et ses citoyens français」も公開されています。この冊子は、阿南先生が長い年月をかけて作成されたもので、作成には本学の藤本健太郎准教授も一部携わらせていただきました。古写真と併せてぜひご覧ください。

長崎外国語大学 新長崎学研究 「古写真に見る明治長崎の日仏関係」  
[https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/recnas/mooc/japan\\_france\\_relations/](https://www.nagasaki-gaigo.ac.jp/recnas/mooc/japan_france_relations/)



長崎日仏協会  
<https://sfj-nagasaki.org/>



## 2023年度新任教職員紹介



黒田 弘美

昨年の9月に特別任用講師として着任いたしました黒田弘美と申します。長年、日本語学習者への文法指導に力を入れており、日本語の受身の指導法について研究を進めております。最近の活動としては、文法指導に合わせて学習者主体の教室活動の方法について、半年間、数名の先生方とプロジェクトを組んで共同研究をしております。これらの研究の結果をもとに、教師の立場と学習者の立場の双方から、授業展開や教材づくりを考え、学習者の思考が深まる教育活動を目指し実践しております。

長崎外国語大学の学生みなさんが授業を受けた後に「もっと学習したい」、「もっと調べてみたい」と思うような授業を行っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

外国語学部国際コミュニケーション学科/特別任用講師



松園 盛矢

5月より事務職員に配属となりました、松園です。以前は医薬品業界で販売職をしていました。グローバル化が進む中、国際都市である、ここ長崎で本学に勤められることを大変光栄に思っています。本学では、学生一人一人に寄り添いながら学びのサポートを行い、楽しく学生生活を送っていただけるように尽力いたします。1日でも早く仕事を覚え、お役に立てるように頑張りますので宜しくお願いします。皆様とお話できることを非常に楽しみにしていますので、気軽に声をかけていただくと嬉しいです。よろしくお願いいたします。

学生サポート課/職員



後田 莉奈

6月から着任致しました後田莉奈と申します。これまで損害保険会社の営業職として経験を積んできました。教育業界は初めての経験ですが、営業で培ったコミュニケーション能力を活かし、多くの学生さんのご支援をできたら良いなと思っております。私自身、4年前に大学を卒業しましたので学生さんにより近い視点で、安心して相談しやすい存在になればと考えています。気軽に声をかけてください。国際色豊かな長崎外国語大学で私も言語を学びつつ、学生さんと交流できたらと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

総務課/職員



## ● 同窓会だより ●

### 訃報

去る令和4月6日、長年にわたり事務局長として、長崎外国語大学同窓会の運営を支えていただきました、出口すゞ美氏（短期大学22回生）が急逝されました。

生前は、同窓会事務局長として、関東、福岡、熊本の支部づくりを行っていただくなど、本会の発展に多大なるご尽力を頂きました。また本会のみならず、書道を通じ日本文化を伝えていく形で、長崎外国語大学に通う多くの学生にも大きな影響を与えてられました。

本当にありがとうございました、また、本当に長い間お疲れ様でした。

同窓会を今後も継続的に発展させていくことを誓い、お別れの言葉といたします。

長崎外国語大学同窓会  
会長 岩田 耕作

### ご報告

同窓会新事務局長は、代議員承認により秋山将吾副会長（四年生大学第3期生）が兼務することをご報告申し上げます。

【訂正とお詫び】ぶどうの樹第31号で、故吉田親生同窓会名誉会長の卒業年に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。 誤) 1944年→正) 1954年

## ● 保護者会だより ●

青葉若葉を爽やかな風が吹きわたるこのごろ、皆様におかれましてはお健やかに暮しのこととお喜び申し上げます。

世界的に流行していましたがコロナウイルスも、季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行されることとなり、少しずつ日常を取り戻すことができるようになってきました。理事会におきましても、対面式での開催ができるようになりました。また、外語祭も3年振りに開催され、人と人との交流も楽しく行えるようになってきました。そのような折に、大学の体育館で行われるイベントの際にフロアシートの巻取りが大変だということを知り、理事会で協議させていただいた結果、保護者の皆様からお預かりさせていただいております会費を「体育館フロアシート巻取機材一式」の購入費として充てさせていただきました。

これからも、大学生活の中で体育館が有意義に活用され、学生の皆様が益々飛躍されることを願っています。

保護者会会長としてこの場をお借りしまして、ご報告すると共にお礼の挨拶に代えさせていただきます。

今後とも、引き続き保護者会活動へのご協力とご支援をよろしくお願い致します。



長崎外国語大学保護者会  
会長 山本 久美子



## 教育研究の整備に関わる寄付事業のお礼と報告

平成27年4月から開始いたしました「教育研究の整備に関わる寄付事業」は令和5年3月末現在で961件、44,263,260円（内、令和4年10月1日～令和5年3月31日：39件、1,040,160円）のご寄付を賜り、ご支援をいただきました同窓会、保護者会、取引先、在学生保護者を始めとした多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

なお、皆様から賜りました寄付の内から1,500,000円を令和4年度下期に教育環境整備の一環としての実施した学生窓口のローカウンター化及びスロープの拡幅・延伸等、身障者の利便性向上に係るバリアフリー工事に充当させていただきました。

なお、皆様の温かいご支援にお応えすべく、教育環境の整備のために鋭意努力をして参る所存でございますので、今後とも本事業の趣旨にご理解とご協力をお願い申し上げます。

**寄付者ご芳名一覧 令和4年10月～令和5年3月ご寄付分** たくさんの温かいご支援ありがとうございました

### 個人の一部

栗屋 曠	川原 仁幸	佐藤 辰巳	西村 長吉	平田 康子	宮崎 昭義
一宮 啓祥	岸川 善彦	田端 安範	原田 澄	本多 國洋	森脇 浩
岩田 耕作	黒田 雅美	長崎外国語大学保護者会	原野 浩二	前田 英輝	
植木 啓子	桑原 伸良	仲間 勇	平下 美登里	松尾 博則	

### 法人の一部

有限会社 岸本板金                      DEITz 株式会社                      有限会社 ランカードコム

## 新長崎学研究に関わる寄付事業のお礼と報告

平成28年4月から開始いたしました「新長崎学研究に関わる寄付事業」は令和5年3月末現在で315件、13,414,400円（内、令和4年10月1日～令和5年3月31日：21件、142,000円）のご寄付を賜り、ご支援をいただきました多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

なお、皆様から賜りました寄付の内から135,000円を令和4年度下期に新長崎学研究に係る貴重図書および研究資料等の購入費用の一部に充当させていただきました。

今後ともグローバル人材の育成という本事業の趣旨にご理解とご協力をお願い申し上げます。

**寄付者ご芳名一覧 令和4年10月～令和5年3月ご寄付分** たくさんの温かいご支援ありがとうございました

### 個人の一部

栗屋 曠	恵濃 みゆき	小道 隆	田端 安範	深浦 厚之
江口 克彦	桑原 伸良	佐藤 辰巳	西村 長吉	松永 親

### 法人の一部

DEITz 株式会社

## 寄付に係る税金（所得税・住民税）の優遇制度について

寄付をされると次の要領で税金が戻ってきます。詳しくは、法人事務局財務課までお問い合わせください。

**個人** 寄付金が2千円を超える場合は、超えた金額に40%を乗じた金額が税額控除されます。【(注)：寄付金額は年間総所得金額の40%、税額控除は所得税額の25%がそれぞれ限度額となります。】

寄付をされた翌年1月1日現在、長崎県内の市町村の住民税課税対象となっている方は住民税についても寄付金控除が適用されます。

※上記以外の自治体の住民税課税対象となっている方は各自自治体のホームページでご確認くださいか、直接自治体へお問い合わせください。

**法人** 受配者指定寄付金によって、日本私立学校振興・共済事業団を通じて寄付していただきますと、法人税法上、その寄付金を全額損金へ算入できます。【事前の手続きが必要です。ご説明をいたしますので寄付の際は大学にお申し出ください。】

### ご寄付のお申し込みについて

お電話またはメールで、ご住所、お名前をお知らせください。法人事務局よりご説明および必要書類をお送りいたします。

お問い合わせ先

学校法人長崎学院 長崎外国語大学 法人事務局 財務課 (担当：森脇・前田)  
Tel 095-840-2003 (法人財務課直通) Email keiri@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp



# 学校法人 長崎学院 2022（令和4）年度決算報告

学校法人長崎学院は「長崎外大ビジョン2030」に沿って財務基盤の確立および財務体質の強化に努めています。大学の収入の源泉は「学生生徒等納付金」「補助金」「寄付金」「付随事業収入」「その他」の5つに大別されます。なかでも「学生生徒等納付金」が収入の柱となっており、2022年度は事業活動収入の63.5%を占めています。

## 【事業活動収支計算書 収入の部】

令和4年度の学生数は、1年次入学者数（5月1日付）142名（前年比11名減、入学定員170名、入学定員充足率83.5%）、総在籍者数（5月1日付）700名（前年比73名減、収容定員740名、収容定員充足率94.6%）となり、入学定員は2年連続、収容定員は6年ぶりに未充足となりました。

これを受け学生生徒等納付金は、正規学生分が3,318万円減少しましたが、コロナ禍からの活動回復に伴う短期プログラム留学生分が4,255万円増加したことで、前年度比936万円の増加（前年度比1.3%増）となりました。

補助金収入においては、経常費補助金の内、特別補助の採択数が減少し、前年度比1,317万円の減少（前年度比5.4%減）となりました。

付随事業収入はコロナ禍からの活動回復に伴う短期プログラム留学生の受入増加により入寮者数が増加し、前年度比5,191万円の増加（前年度比42.5%増）となりました。

## 【事業活動収支計算書 支出の部】

教育研究経費は前年度比5,097万円の増加（前年度比17.4%増）となり、管理経費は前年度比2,656万円の増加（前年度比13.3%増）となりました。短期プログラム留学生の受入増加に伴う奨学金の増加（前年度比4,268万円増）や電気代の高騰（前年度比1,413万円増）、コロナ禍からの活動回復に伴う出張旅費の増加（前年度比858万円増）、寮食費の増加（前年度比962万円増）等が主な要因です。

以上の結果、令和4年度の基本金組入前当年度収支差額は5,742万円となり、前年度比5,802万円の減収（前年度比50.3%減）となりました。なお基本金組入前当年度収支差額は、平成27年度以降、8年連続の収入超過となっています。

翌年度繰越支払資金は、収入が増加したものの支出の増加を賄うまでは至らず、前年度比616万円の減小となりました。



## 事業活動収支計算書

令和4年3月31日から令和5年3月31日まで

(単位：千円)

科目		令和3年度	令和4年度	差異
教育活動収入	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	745,849	755,213	9,364
	手数料	7,408	6,388	△ 1,020
	寄付金	3,152	466	△ 2,686
	経常費等補助金	242,319	230,117	△ 12,202
	国庫補助金	241,948	228,781	△ 13,167
	地方公共団体補助金	371	1,336	965
	付随事業収入	126,270	175,085	48,815
	雑収入	18,576	15,720	△ 2,856
	教育活動収入計	1,143,574	1,182,989	39,415
事業活動支出の部	人件費	541,670	546,625	4,955
	教育研究経費	292,196	343,166	50,970
	管理経費	199,289	225,853	26,564
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	1,033,155	1,115,644	82,489
教育活動収支差額	110,419	67,345	△ 43,074	

科目		令和3年度	令和4年度	差異
教育活動外収支	収入の部			
	受取利息・配当金	2	2	0
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	2	2	0
	支出の部			
	借入金等利息	16,496	13,628	△ 2,868
	その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	16,496	13,628	△ 2,868	
教育活動外収支差額	△ 16,494	△ 13,626	2,868	
経常収支差額	93,925	53,719	△ 40,206	

科目		令和3年度	令和4年度	差異
特別収支	収入の部			
	資産売却差額	517	0	△ 517
	その他の特別収入	22,469	6,283	△ 16,186
	特別収入計	22,986	6,283	△ 16,703
	支出の部			
	資産処分差額	1,196	2,177	981
	その他の特別支出	283	410	127
	特別支出計	1,479	2,587	1,108
	特別収支差額	21,507	3,696	△ 17,811
	予備費	—	—	—
基本金組入前当年度収支差額	115,432	57,416	△ 58,016	
基本金組入額合計	△ 138,000	△ 111,672	26,328	
当年度収支差額	△ 22,568	△ 54,257	△ 31,689	
前年度繰越収支差額	△ 2,915,381	△ 2,937,949	△ 22,568	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 2,937,949	△ 2,992,206	△ 54,257	

(参考)

事業活動収入計	1,166,562	1,189,274	22,712
事業活動支出計	1,051,130	1,131,859	80,729

## 貸借対照表

(単位：千円)

令和5年3月31日

(単位：千円)

資産の部			
科目	令和3年度	令和4年度	差異
固定資産	5,358,675	5,271,755	△ 86,920
有形固定資産	5,242,551	5,154,914	△ 87,637
土地	3,183,999	3,183,999	0
建物	1,607,085	1,523,100	△ 83,985
その他の有形固定資産	451,467	447,815	△ 3,652
特定資産	100,000	100,000	0
その他の固定資産	16,123	16,841	718
流動資産	339,564	330,276	△ 9,288
現金預金	325,521	319,365	△ 6,156
その他の流動資産	14,043	10,911	△ 3,132
資産の部合計	5,698,238	5,602,031	△ 96,207
負債の部			
科目	令和3年度	令和4年度	差異
固定負債	938,205	797,998	△ 140,207
長期借入金	691,243	553,774	△ 137,469
その他の固定負債	246,962	244,224	△ 2,738
流動負債	442,130	428,715	△ 13,415
短期借入金	154,288	137,469	△ 16,819
その他の流動負債	287,842	291,246	3,404
負債の部合計	1,380,336	1,226,713	△ 153,623

純資産の部			
科目	令和3年度	令和4年度	差異
基本金	7,255,852	7,367,524	111,672
第1号基本金	7,176,852	7,288,524	111,672
第4号基本金	79,000	79,000	0
繰越収支差額	△ 2,937,949	△ 2,992,206	△ 54,257
翌年度繰越収支差額	△ 2,937,949	△ 2,992,206	△ 54,257
純資産の部合計	4,317,903	4,375,318	57,415
負債及び純資産の部合計	5,698,238	5,602,031	△ 96,207

※その他の計算書類は本学HPIに公開しています。





とぎつカナリーホールにて、2022年度卒業証書授与式が執り行われ、151名の卒業生が本学を巣立っていきました。4年ぶりとなる卒業パーティーも開催され、大学生活のほとんどをコロナ禍という苦境の中で過ごした学生たちでしたが、最後にたくさんの笑顔が見られる時間となりました!!

## 長崎外大 2023年度 年間スケジュール

今年度、本学では以下のイベントを実施、予定しています。

春	4月1日	2023年度 春季入学式
	5月20日	スポーツ大会
	5月21日	長崎外国語大学保護者会定期総会
夏	7月22日	オープンキャンパス
	7月26日	留学許可書授与式
	8月5日・26日	オープンキャンパス
	8月10日～9月13日	夏季休暇(夏休み)
秋	9月20日	秋季入学式
	9月22日	秋季卒業式・卒業パーティー
	10月7日	長崎外国語大学地区別保護者懇談会(長崎外国語大学)
	10月28日・29日	第71回外語祭
冬	12月1日	創立記念礼拝
	12月9日	英語ボキャブラリーコンテスト
	12月20日	全学クリスマス礼拝
	2月10日～3月31日	春季休暇(春休み)
	3月3日	保護者対象留学説明会
	3月15日	2023年度春季卒業式・卒業パーティー
3月23日	春のオープンキャンパス	

※既に実施済のものを含みます。予定は諸事情により変更されることがあります。